

## 100円の愛

魏 海 华  
WEI HAI HUA

2008年5月12日は、四川省人民が地震で被災した日です。その地震は色々な意味で、人々の心を大きく変えることになりました。

巨大な地震は、四川省人民の静かな生活を奪いました。そして今度の地震で数万の人々が家や自分の故郷を失いました。またたくさんの人々が怪我をしたり、命を失ったりしました。特に幼い子の命が失われるのは、とてもつらいことでした。そして私は被災した人のために、何かをしたいと思いました。でも今私は遠く離れた日本にいます。私には何もすることができません。私はテレビを見ながら、ただ彼らのために無事を祈ることしかできませんでした。

私がある日、近くのスーパーへ行った時のことです。「お母さん、これは何？」という声が聞こえました。見るとそれは5歳か6歳位の女の子でした。お母さんは「これは募金箱よ。最近中国で大きな地震があったから、お金を集めて助けてあげるのよ」と言いました。女の子は「お母さん、私もお金をあげたい。お金ちょうだい」と言ったのです。そしてお母さんは、財布から100円を取り出して女の子に渡しました。女の子はうれしそうに100円を持って、募金箱の前に歩いて行きました。でも箱の中に入れようとしたのですが、少し高いところにあるので、なかなか入れることができません。女の子は跳んだり跳ねたりしていました。背伸びをして、お金を持っている手をいっぱい伸ばしました。そ

して苦労しながらやっと入れることができました。女の子はとてもうれしそうでした。

私はこの光景をずっと見ていました。私は日本の幼い子供が、こんなことをするとは想像していませんでした。本当にすごいことです。そして自分の身近で起こった出来事に、私は何も考えず行動しました。私はその親子に駆け寄り「私は中国人です。本当にありがとうございます。心から感謝します」と言いました。するとお母さんは「いいえ、頑張ってるね」とだけ言いました。その瞬間、私の目から涙が溢れそうになりました。私は生涯このことを忘れないだろうと思いました。

私はこの子供の無邪気でかわいい笑顔を見て思いました。私はテレビで地震の様子を見ていた時、私には何もできないと思っていました。でも遠く離れた日本で、一人の幼い子が大切なお金を募金していたのです。被害を受けた人達は、このような女の子のことを知りません。ですから私は中国へ帰った後、この女の子の小さな愛を伝えなければならないと思いました。そして私達はこの小さな愛を必ず大切にしたいと思います。

今四川省の人達は、少しずつですが以前の生活を取り戻そうとしています。子供達も新しい学校に通っています。幼い子供たちが、早くこの女の子のような笑顔に戻ることを心から願っています。